

ミュージアム・キャラバン報告

2023/2

「身の回りのものを塗りつぶして、立体的な絵を描こう」

講師	末永史尚（美術家）
内容	身の回りにあるものを白い絵の具で塗りつぶし、記憶を頼りに元の色を塗ってみることで、立体的な絵をつくり、出来上がったものを新たな視点で楽しむ。
対象・人数	小学校6年生 2クラス44名
活動時間	3時間目（45分）：制作 4時間目（45分）：制作 5時間目（45分）：制作/鑑賞
会場	アトリエ（2部屋）

（当日の様子）



◆材料は皆さんの身近なもの！



◆まずは白く塗りつぶしていきます。◆記憶をたどって着色をします。



◆みんなで鑑賞します。



◆末永さんと作品について話しました。

（活動後ご担当の先生より感想（一部抜粋））

「この課題は、白く塗ることも面白いけど、どんな色だったか思い出すことや、新たに好きな色に塗って作品を生まれ変えることができること、子供たちが制作中に夢中になりながら、時折、周りの友達の作品を見ることで「ああしよう、こうしよう」などイメージしたり話し合うことで、形の面白さ、色のイメージを感じる事が出来たと思います。「もっとやりたい」と声に出していたので、行うことが出来てよかったです。とても満足していて、またやってみたいという声が多くありました。準備を通して、一人では、行うことは難しいと改めて思いました。本当にありがとうございました。」